

該当シーケンス	エラー項目	該当エラー	それに対する例外処理	検証方法
OBC起動しない	さ	OBC 故障	CIBが溶断シーケンス	
IO_PIN_50セット	あ	ioピン不良 OBC出力の不良は経験ない CIB側の入力不良が心配 井手	どちらも溶断が始まってしまう可能性あり →時間差でうまく調整する？ →EEPROMに溶断中かどうかを書き込む？ あたりと思う。溶断ステータスを未溶断、溶断中、溶断済みでわけるのはいいと思う。井手	保留
EPSスイッチ全オフ	A	OBC→EPS I2Cerror	エラーが起きたらEPSキルをRXに送信？ →出来なかったらそのままでもいい？一応スイッチのリミットタイマーを打ち上げ前につけておく(30秒) ・リミットタイマーは初期運用後に停止できるよね？ 毎回30秒で止まってしまうのが心配。岩崎	リミットタイマー関数デバック済みのため、特に行わない リミットタイマーはSW10のみの実装予定
溶断ステータス読み込み (溶断前に必ず読み込み)	B	OBC→EEPROMI2Cerror	SDに溶断ステータス書き込み さらにエラーでRXにリセットコマンド →無限ループに入る可能性 RXリセットコマンドをやめたとしてどうするか？ →読み込めないで溶断開始 I2cエラーが出たらタスク停止、ioピン50を切ってCIBが溶断 ただし、溶断シーケンスに入る前の読み込みは片方が溶断済とわかれば通常運用へ	i2cエラーがでたと想定してiopinを切ってタスクを停止 →CIBが溶断シーケンスに入れるかを確認する
通常溶断SW	A	OBC→EPS I2Cerror	エラーが起きたら通常溶断終了、冗長溶断へ →通常ができなければ冗長予定だがUART割り込みも失敗したらどうするか？ →ioピンをきらない限りCIBの溶断にはならない →どちらも失敗する可能性を考慮する必要あり 一回失敗したら終わる処理ではなく、ループで何度もUARTを送る処理になってなかったっけ？ 井手	i2cエラーが出てもそのままプログラムが流れるので特に検証を行わない
通常溶断SW	お	EPS 溶断SW	通常溶断不可→冗長溶断へ	i2cエラーが出てもそのままプログラムが流れるので特に検証を行わない
OBCが通常溶断中	1	OBCのみ再起動	OBCのイニシャライズでEPS全スイッチオフ	溶断中にOBCを再起動させEPSの溶断SWをオフに出来るかを確認
OBCが通常溶断中	2	OBCオフ	RXがOBCの起動確認してEPSキル →スイッチのリミットのタイマーつける(30秒) ニクロム線の焼ききれる可能性があるがOBCだけオフになる可能性が低いので考慮しない	溶断中にOBCを再起動させEPSの溶断SWをオフに出来るかを確認 特に対策はしないことになった
アップリンク待ち	1	OBCのみ再起動	何回溶断したかをEEPROMに保存、再起動その値を読んで再開	OBCを途中で再起動させ再度読み込みを行うかを検証
溶断回数読み込み	B	OBC→EEPROMI2Cerror	エラーが出ると0からスタートして通常溶断になる →溶断ステータスと同様にタスク停止でCIBに頼む？ ・溶断するのが確定で回数で変わるのが溶断時間だけなら OBCで溶断してもいい気がする 岩崎	溶断回数読み込み時にエラーを起こして0から始まるかを確認する
OBC冗長系コマンド送信中	1	OBCのみ再起動	TXがコマンド破棄 CRCではじけるはず	あえて途中で途切れたUARTを送信後OBCを再起動
OBC冗長系コマンド送信中	き	マルチプレクサ	冗長系溶断使用できない通常溶断へ	
OBC冗長系コマンド送信中	C	OBC→TX UARTerror	冗長系溶断使用できない通常溶断へ	今のuartの関数って返り値ないから成功の判断をどうするかが問題だね 岩崎 IO_PINのHigh, Lowの組み合わせでチェックできない？ 井手